

防災班 キャプ さい そえん まいさん 蛭川 さん 高 高木 さん

子を守るため 地域のつながりを

早速呼び名も高木 大の防災班で子連れ 防災研究者の蛭川理紗さん (右) を取材して

高 蛭川さん、こんにちは。今、どんなお仕事をされておられますか？

蛭川 了解しました。行っています。こんにちは。いっしょに防災を研究したいという思いで、一昨年、中部電力から出向して、これまで「災害時に娘を守るための防災」を研究してきました。

高 子育ても防災も、研究をされている。一昨年、中部電力から出向して、これまで「災害時に娘を守るための防災」を研究してきました。

高 防災は、地域が大切。防災は、地域が大切。防災は、地域が大切。防災は、地域が大切。

「私と一緒に！ 備えよまい！」

ここにちは、防災の啓発活動に取り組んでいるそえん・まいです。中日新聞社全員の防災班から取材に協力してほしいと依頼がある。特別な準備に委嘱されました。備えるは、今回から、災害や防災をもっと身近に感じてほしいとリニューアルしたそうです。まいも頑張って伝えます。よろしくね。

そえん・まい

防災 子育て世代も考えて



名古屋の専門学校生らデザイン

そえん・まいさんは、名古屋市のNPO法人「防災自助普及委員会」が企画した防災アイドルキャラクター。理事長の伊藤知恵さん(58)が名古屋工学院専門学校(同市熱田区)に依頼して、教員の世界哲也さん(44)とせみ生がデザインを手掛けた。

名前前は、名古屋弁で「備えをしましよう」を意味する「備えよまい」にちなむ。困った人を見逃さない性格で、特技はローリングストック(消費した分を買い置きする)と、揺れに備えた家具の固定。3月に名古屋市防災広報アンパスターに任命された。

せみ生の角田七彩さん(20)は、まいさんの活動によって「若い人も防災に関心を持って」、伊藤さんも「備えの原動力になれば」と話す。

備えるものを紹介する高木一恵さん(右端)ら＝名古屋市中区で



災害ごとに準備を

高 家庭ではどう備えればいいのか。要知内の関係団体「防災ママ」がまとめた「防災ママ」を参考に、高木一恵さん(右)と、まいさん、何となく準備しています。

高 地震への備えだけでなく、風水害や土砂災害に備えることも必要です。例えは、水害は土のうや防犯用ヘルメット、生年用目や、ヘルメットや防犯用ヘルメットを、家族写真も入れておくことも大切です。

高 防災グッズには、備えよまい。防災グッズには、備えよまい。防災グッズには、備えよまい。

中ノプロに動画
次回「備えよまい」は、十月三日の撮影予定です。そえん・まいさんの取材体験記は随時掲載します。まいさん、お楽しみに。まいさん、お楽しみに。

文・横井武志、戸川右福



2度の浸水 標柱で意識

▼18 ▲伊勢湾台風 (岐阜県養老町)

揖斐川の支流、牧田川の堤防道路脇に1決壊口がある。一九五九年、養老町高野地区の周辺は二十四日朝に再び浸水した。この場所は同年八月の豪雨でも幅員二メートル以上が浸水。約一週間後に再び浸水に遭った。...

